

事業所名 放課後等デイサービスおひさま津山事業所

支援プログラム

作成日 令和6 年 12 月 13 日

|           |   |  |   |       |
|-----------|---|--|---|-------|
| 法人（事業所）理念 |   | 「全ての鍵っ子をなくしたい」という経営者の強い思いのもと、障害があってもなくてもものびのびと育てられるよう、子育て支援に注力している株式会社HUGHUGが母体です。県内外の同法人施設間（保育園、放課後児童クラブ）との情報共有、児童発達支援事業、B型作業所、日中一時支援、多機能事業所など「おひさま」内での他の障害福祉サービス事業所との間で引継ぎが可能な為、スムーズな移行が可能となり、生涯にわたってそれぞれのライフステージでサポートができています。楽しみながら、自分の課題に向き合い、共に成長を喜び合う場所を目指しています。                 |   |       |
| 支援方針      |   | 家庭と学校のちょうど間のような、居心地のよい温かい場所を目指して活動しています。利用児一人ひとりに合わせた療育やサポート方法を一緒に考えます。低学年では褒められ、大切にされる経験を通して自己肯定感を育み、高学年では自分の課題と向き合ったり、自分で出来る事を増やし、自力で難しいことは援助要請をできるようソーシャルスキルトレーニングを行います。昼食やおやつは子どもと調理することもあり、保護者の方からは好評を得ています。  |   |       |
| 営業時間      |   | 9 時 0 分から 18 時 0 分まで   | 送迎実施の有無   | あり なし |
| 支 援 内 容   |   |  |   |       |
| 本人支援      | 健康・生活   | 安心安全に生活するための助言・見守り・環境調整をする。<br>基本的な生活動作の自立や、生活リズムの形成に関する助言・サポート（歩行、食事、歯磨き、トイレなど）を行う。<br>自分の感情を客観視しコントロールをすることで、心の健康を保つこともできるように練習をしていく。  |   |       |
|           | 運動・感覚   | 五感を刺激する遊びやトランポリン、バランスストーンなどを使った運動で、バランス感覚と空間認識を養い、身体の緊張と弛緩について学び、感覚統合につなげていく。<br>感覚過敏のある方は自分の安心できる環境がどのようなものか知り、必要に応じイヤーマフやゴーグルなど補助具の使用についても試していく。<br>運動は生涯にわたる健康管理の基礎となるため、運動の楽しさを知り、長期にわたって取り組みそうなものを見つけられるようにする。  |   |       |
|           | 認知・行動   | 認知能力は個人で差があるため本人の特性に合わせて（例えば片付けが必要な状況がわからない、であればまずは散らかっている状態、と片付いている状態の見分けがつくように）支援方法を工夫する。<br>認知の歪みがある方に関しては、世の中には0か100かの極端な判断ではなく、曖昧な表現やニュアンスがあることについても理解し、少しずつ許容範囲が広がっていくよう支援を行う。<br>望ましい行動を適切に強化することで、他者にとって好ましい行動が少しずつわかり、社会適応力が上がるよう支援する。暴言など好ましくない行動に関しても、丁寧に観察し対処法を考えていく。      |   |       |
|           | 言語コミュニケーション   | ジェスチャーや表情、アイコンタクトなどの練習をして、言語以外のコミュニケーションの手法や読み取り方を学ぶ。<br>PECSや絵カードを使用し、言語のみではコミュニケーションの難しい方、発語のない方のコミュニケーションも支援していく。<br>パターンやシチュエーションを限定してロールプレイを行うことで、コミュニケーションの困難がある方にも挑戦しやすいスモールステップの支援を展開していく。   |   |       |
|           | 人間関係社会性   | 挨拶や礼儀、自己紹介、感謝や謝罪を伝える練習など表現を練習し、職員や友達との関わり方を学んでいく。SSTや役割遊び、簡単なルールの遊びを通して協力の仕方を学ぶ。<br>絵本や感情カードを使って共感の練習を行い、相手の立場に立ったり、他者の気持ちを理解しようとする力を育む。<br>友人、上下、利害、同盟、協力、対立など集団で発生する多様な人間関係について学び、相手も自分も大切にできるような一緒に考えていく。<br>学校から宿題を持ち帰る方に関しては、学校の先生との約束ごとととらえ、毎日事業所で宿題をすることで約束を守る経験を積めるようサポートしている。 |   |       |
| 家族支援      | <ul style="list-style-type: none"> <li>送迎時の情報共有、保護者面談、連絡ノートによる情報共有</li> <li>各関係機関との連携調整（相談支援員、学校、市の相談室、児童相談所など）</li> <li>管理者や児童発達支援管理責任者に相談できる環境調整</li> </ul>                           | 移行支援   | <ul style="list-style-type: none"> <li>学校卒業時の進学・就職サポート（面接練習など受験対策、事業所・企業見学への同行）</li> </ul>  |       |
| 地域支援・地域連携 | <ul style="list-style-type: none"> <li>自立支援協議会への定期的な参加 ・子ども部会への参加</li> <li>図書館や公民館、児童館など地域の公共施設を利用し、地域資源を活用する</li> </ul>  | 職員の質の向上  | <ul style="list-style-type: none"> <li>日々の支援についての振り返り、ケーススタディ ・資格取得支援 ・職員面談</li> <li>定期的な研修 ・同一法人内での移動勤務による研修 ・STの訪問指導</li> </ul> |       |
| 主な行事等     | <ul style="list-style-type: none"> <li>各季節のイベント（節分・バレンタイン・ひなまつり・こどもの日・母の日・父の日・七夕・夏祭り・敬老の日・ハロウィン・クリスマス会など）</li> <li>外出行事（工場見学、美術館、プラネタリウム、ボルダリングなど）</li> <li>避難訓練（火災・地震・土砂崩れ）</li> </ul> |  |   |       |